

～会場を含めた意見交換を行いました～

【これからの園芸農業（ハウス）のエネルギーについて】

A： 先日、高知県の研修でオランダのウエストランド市でビニールハウスの見学をさせていただいたのですが、オランダの農業は、会社として個人個人が運営しているので、高知県がオランダと同じになることは難しいと思うんですが、エネルギーの問題でいえば、オランダは地熱と天然ガスを使っているんです。高知県だと木質ペレットやヒートポンプなどの導入が一番いいのではと思うんですが、その補助とか考えているでしょうか。

知事： 高知県はオランダのウエストランド市と園芸農業友好協定を結んでおります。オランダは、園芸農業の世界一であり、高知県は園芸農業の日本一を目指しているので、世界一のオランダと提携しています。その一環で交換留学があり、園芸農業の方に行っていたら、勉強していただきました。

私もオランダに行ってきたハウスを見させていただきましたが、徹底した省エネ型と管理されたハウスを作っていて、日本で同じことをやるのは難しいかもしれませんが、オランダほど寒くないので、日本のほうが条件は有利かもしれません。

現在、高知県ではできるだけ木質バイオのボイラーを入れたハウスにできないか、もっと言えばヒートポンプ、太陽熱等のハイブリッド型のハウスはできないか。そういうスーパーグリーンハウスという設備の開発をこの産業振興計画の一環としてやることになっています。これから研究を始めていく段階ですが、そこで、こういうかたちであればできるというものがあれば、それを広げていくための補助制度を作って広げていくかたちになると思います。今すぐできる対策として取り組もうとしているのは、木質バイオのボイラーの数をできるだけ増やす取り組みです。毎年、石油代として、中東に出ていっているお金が、もし県内の山にくるっと回ってくるようになれば、県債収支の改善にもつながるということを考えています。まだ採算がうまく合わないところがあるので、ビジネスモデルとして実証実験を来年の4月からやりたいと思っています。それでうまくいくようなら、県内全域に広げていくことを考えていこうとしています。

【「わがまま屋友の会」について】

E： 土佐山の「わがまま屋」は、「わがまま屋友の会」というのを立ち上げて、毎月第2土曜日に自分の飲みたいお酒と食べたいものを持ってきてもらって、夢を語って、みんなでその夢に乗っかってやってみようという会です。誰でも参加できますので。

知事： 私もお酒は得意ですので、1回参加させていただきたいなと思います。